「石川の教育振興基本計画」改定のポイント

基本目標1 いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材を育成します

・ 「地方創生」の動きを踏まえ、基本目標として「いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献できる人材づくり」を掲げ、「地域の活性化に貢献できる人材の育成」、「イノベーションを担う人材の育成」、「グローバル人材の育成」、「地元の企業や大学と連携した人材の育成」を新たな施策の方針とした。

基本目標2 学力を高め、社会の変化に対応できる資質・能力を育成します

- ・ 確かな学力の育成として<u>「県立高校『学力スタンダード』による学力</u> <u>の質の確保」</u>や課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ、いわゆる<u>「アクティブ・ラーニングの推進」</u>を新たな取組として明記するとともに、<u>「ICTの活用等による新たな学びの推進」</u>を新たな施策の方針とした。
- ・ 発達障害を含め学習面や行動面の支援が必要な子供たちが顕在化していることを踏まえ、「特別な教育的支援が必要な児童生徒に対するサポートの充実」を新たな施策の方針とした。
- ・ 実社会に必要な能力として、選挙権年齢の引き下げに伴う高校生に対する「**主権者教育」**を新たな取組として明記した。

基本目標3 豊かな心と健やかな体を備えたタフな人づくりを推進します

- 道徳の教科化を踏まえた<u>「道徳教育の充実」</u>や、<u>「いじめ・不登校等</u> **への取組の充実」**に、引き続き取り組むこととした。
- ・ 「防災教育・安全教育の推進」を施策の方針とした。

基本目標4 信頼される質の高い学校づくりを推進します

- ・ 教員の急激な世代交代を踏まえ、<u>「いしかわ師範塾による研修」</u>を、 教員の資質・能力の向上の新たな取組に加えるとともに<u>「優秀な教員志望</u> 者の確保と養成」を新たな施策の方針とした。
- ・ 学校が抱える諸課題の多様化・複雑化を踏まえ、学校の組織的な対応 力の向上として<u>「チーム学校の推進」</u>を新たな取組として明記した。

基本目標5 高等教育機関の集積を活かした「学都石川」の魅力向上を推進します

・ 大学コンソーシアム石川等による<u>「グローバル人材の育成」</u>を新たな 取組として明記した。

基本目標6 社会全体で家庭や地域の教育力の向上を推進します

・ 家庭の教育力の向上として、忍耐力、協調性、自制心など、いわゆる 「非認知能力の育成」を新たな取組として明記した。

基本目標7 生涯にわたり学び続ける環境づくりを推進します

・ 生涯学習活動を支える環境づくりとして、「県立図書館の移転・建替えによる機能強化」を新たな取組として明記した。

基本目標8 ライフステージに応じたスポーツ活動を充実します

・ オリンピック等の事前合宿誘致や若手アスリートの育成など、<u>「東京</u> オリンピック・パラリンピックを見据えた取組の充実」を新たな施策の 方針とした。